

D I ニュース

薬剤部 医薬品情報管理係

新規採用医薬品通知

(薬品名)	プラザキサ Cap 75mg/110mg	市販直後調査 平成23年3月～平成23年9月
(英名) (規格・含有量)	Prazaxa Capsules 75mg/110mg 75mg/Cap: 1Cap 中ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩 86.48mg(ダビガトランエテキシラートとして75mg)含有 110mg/Cap: 1Cap 中ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩 126.83mg(ダビガトランエテキシラートとして110mg)含有	
(一般名) (メーカー名)	ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩製剤 日本ペーリンガーインゲルハイム	
【薬価収載日】	2011年3月	
【薬価】	132.60円/1Cap(75mg) 232.70円/1Cap(110mg)	
【薬効コード】	873339	
【薬効分類名】	直接トロンビン阻害剤	
効能・効果	非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制	
用法・用量	通常、成人にはダビガトランエテキシラートとして1回150mg(75mgカプセルを2カプセル)を1日2回経口投与する。なお、必要に応じて、ダビガトランエテキシラートとして1回110mg(110mgカプセルを1カプセル)を1日2回投与へ減量すること。	
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②透析患者を含む高度の腎障害(クレアチニンクリアランス30mL/min未満)のある患者 ③出血症状のある患者、出血性素因のある患者及び止血障害のある患者 ④臨床的に問題となる出血リスクのある器質的病変(6ヶ月以内の出血性脳卒中を含む)の患者 ⑤脊椎・硬膜外カテーテルを留置している患者及び抜去後1時間以内の患者 ⑥イトラコゾール(経口剤)を投与中の患者	
相互作用	本剤副作用増強 ①血小板凝集抑制作用を有する薬剤(アスピリン、ジピリダモール、チクロピジン塩酸塩、クロピドグレル硫酸塩等) ②抗凝固剤(ワルファリンカリウム、未分画ヘパリン、ヘパリン誘導体、低分子ヘパリン、フォンダパリヌクスナトリウム等) ③血栓溶解剤(ウロキナーゼ、t-PA製剤等) ④非ステロイド性消炎鎮痛剤(ジクロフェナクナトリウム等) 本剤作用増強 ①P-糖蛋白阻害剤(経口剤)(ベラパミル塩酸塩、アミオダロン塩酸塩、キニジン硫酸塩水和物、タクロリムス、シクロスポリン、リトナビル、ネルフィナビル、サキナビル等) ②クラリスロマイシン(経口剤) 本剤作用減弱 P-糖蛋白誘導剤(リファンピシン、カルバマゼピン、セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort, セント・ジョーンズ・ワート)含有食品等)	
副作用	重大な副作用 出血 その他 消化不良(4.7%)、胃食道炎(3.1%)、皮下出血(3.1%)など	
備考	①手術や侵襲的手技を実施する患者では、手術や侵襲的手技の24時間前までに投与中止すること。完全な止血機能を要する大手術を実施する場合や出血の危険性が高い患者を対象とする場合には、手術の2日以上前までの投与中止を考慮。 ②本剤は吸湿性があるので、服用直前にPTPシートから取り出すよう指導すること。 ③本剤と同時にベラパミル塩酸塩の併用を開始、もしくは本剤服用中に新たにベラパミル塩酸塩の併用を開始する場合は、併用開始から3日間はベラパミル塩酸塩服用の2時間以上前に本剤を服用させること。	

(薬品名)	ヨウ化ナトリウムカプセル-30号
(英名)	Sodium Iodide- ¹³¹ I Capsules
(規格・含有量)	1カプセル中、ヨウ化ナトリウム(¹³¹ I)液(検定日時)1.11GBqを含有
(一般名)	ヨウ化ナトリウム(¹³¹ I)カプセル
(メーカー名)	富士フイルム RI ファーマ株式会社
【薬価収載日】	1990年8月
【薬価】	44,100.00円/1Cap
【薬効コード】	874300
【薬効分類名】	放射性医薬品
効能・効果	①甲状腺機能亢進症の治療 ②甲状腺癌及び転移巣の治療 ③シンチグラムによる甲状腺癌転移巣の発見
用法・用量	① バセドー病の治療 投与量は、(1)甲状腺 ¹³¹ I摂取率、(2)推定甲状腺重量、(3)有効半減期等をもとにして、適切な量(期待照射線量30~70Gy)を算定し、経口投与する。 ② 中毒性結節性甲状腺腫の治療 結節の大きさ、機能の程度、症状等により適切な量を経口投与する。 ③ 甲状腺癌及び転移巣の治療 本品を1回あたり1.11~7.4GBq経口投与する。一定の期間後症状等を観察し、適宜再投与する。 ④ 甲状腺癌転移巣のシンチグラム 本品18.5~370MBqを経口投与し、一定時間後に甲状腺癌転移巣のシンチグラムを得る。
禁忌	—
相互作用	—
副作用	本品は、使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
備考	ヨウ素含量の多い薬剤(ヨード造影剤、ルゴール液、ヨードチンキ等)及び飲食物(コンブ、ワカメ等)、甲状腺ホルモン、抗甲状腺剤は、治療あるいは検査に影響を与えるので、本品投与前後の3日~1週間は禁止すること。

削除医薬品通知

●5月2日より

プロピタン錠 50mg 削除

チョコラA末 1万単位/g 削除

●4月15日より

レリフェン錠 400mg 削除

震災に伴う医薬品変更について

災に伴う影響で、以下の薬品に関して代替品に切り替える可能性があります。
切り替え時期は追って連絡させていただきます。

代替医薬品	従来採用医薬品
クラビット点滴静注バッグ 500mg/100mL	クラビット点滴静注 500mg/20mL

規格追加通知

今回採用医薬品
<p>●<u>5月2日より</u></p> <p>アリセプトD錠 10mg</p> <p>ラミクタール錠小児用 5mg</p>

医薬品変更通知

今回採用医薬品（採用）	従来採用医薬品（削除）
<p>エバミール錠 1.0（バイエル） 【震災のため】</p> <p>クラビット点滴静注バッグ 500mg/100mL（第一三共） 【震災のため】</p>	<p>ロラメット 1.0（あすか製薬）</p> <p>クラビット点滴静注 500mg/20mL（第一三共）</p>